



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ハマキョウレックス
 コード番号 9037 URL <http://www.hamakvorex.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 大須賀 秀徳
 (氏名) 山崎 裕康

TEL 053-444-0054

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	22,245	0.9	1,329	△17.5	1,369	△17.8	721	△12.0
25年3月期第1四半期	22,051	△1.3	1,612	2.8	1,665	6.4	819	2.0

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 830百万円 (△8.1%) 25年3月期第1四半期 904百万円 (2.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	86.38	—
25年3月期第1四半期	98.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	87,769	31,821	31.3
25年3月期	86,920	31,215	31.0

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 27,480百万円 25年3月期 26,910百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	21.00	—	21.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	44,000	△0.0	3,100	0.7	3,100	△2.3	1,600	△2.2	191.54
通期	91,000	2.3	6,900	18.2	6,900	15.8	3,500	12.9	419.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	8,356,000 株	25年3月期	8,356,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	2,831 株	25年3月期	2,812 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	8,353,180 株	25年3月期1Q	8,353,188 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(4) その他	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による金融緩和策や経済政策を背景に円高・株高が進み、景況感は改善傾向が見られました。しかし、新興国をはじめとする海外経済の不確実性は大きく、先行き不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、個人消費は底堅い動きを見せているものの、原油や輸入原材料の価格上昇等、引続き厳しい状況が続いております。

こうした中、当企業グループの当第1四半期連結累計期間は、営業収益222億45百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益13億29百万円（同17.5%減）、経常利益13億69百万円（同17.8%減）、四半期純利益7億21百万円（同12.0%減）となりました。

各セグメント別の営業状況は、次のとおりであります。

（物流センター事業）

当第1四半期連結累計期間の営業収益は、105億46百万円（前年同期比0.4%増）、営業利益は、9億71百万円（同25.5%減）となりました。

増収の主な要因につきましては、物流センター運営の充実と前連結会計年度までに受託したセンターが順次業績に寄与することによるものであります。また、減益の主な要因につきましては、前連結会計年度までに受託したセンターにより増加したものの、既存荷主様の一部契約内容の変更及び物量減少等により前年に比べ減少しております。

新規受託の概況につきましては、4社の物流を新たに受託しております。

稼働状況につきましては、前期受託した5社を含めた9社のうち8社稼働しております。残りの1社につきましては、平成25年8月以降の稼働を目指し準備を進めてまいります。

物流センターの総数は、新規受託による増加と既存荷主の減少により72センター（前連結会計年度末比4センター減）となりました。

引続き日々収支、全員参加、コミュニケーションを徹底して行い、収支改善に向け取り組んでまいります。

（貨物自動車運送事業）

当第1四半期連結累計期間の営業収益は、116億98百万円（前年同期比1.3%増）、営業利益は、3億57百万円（同16.9%増）となりました。

営業収益につきましては、依然として家電関連を中心とした物量の減少はあるものの、近物レックス(株)においては、物量の増加及び新規顧客の獲得が進んだことにより増加しております。

営業利益につきましては、近物レックス(株)での営業収益増加と、日々管理による経費の抑制により増加しております。

今後の取組みにつきましては、新規顧客の獲得強化及び既存顧客への営業強化を継続し、収益確保に努めてまいります。また、全車両へのドライブレコーダーの導入を進め、輸送品質の向上を図ってまいります。

その他の取組みといたしましては、現在、当企業グループ内で、一部施設の共同利用を進めております。これにより、更なる採算性の向上を図ってまいります。

(2) 財政状態に関する説明

（当第1四半期の状況）

当企業グループの当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比8億48百万円増加し

877億69百万円となりました。これは主に、流動資産が75百万円の減少と、有形固定資産等の増加により、固定資産が9億24百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末比2億43百万円増加し、559億47百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が2億41百万円、未払法人税等が6億59百万円それぞれ減少し、その他流動負債が8億83百万円、その他固定負債が4億72百万円それぞれ増加したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末比6億5百万円増加し、318億21百万円となりました。これは主に、四半期純利益7億21百万円の計上と剰余金の配当による減少1億67百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の31.0%から31.3%へと増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、日本経済再生に向けた新政権の政策も徐々に浸透し、景気も穏やかに回復傾向にあるものの、海外経済の不確実性、輸入原材料及び原油価格の高騰などのリスク要因が拭いきれず、依然として先行きは不透明であります。

このような環境の中、顧客の物流費削減のニーズに応えるチャンスとして、当社の主力である物流センター(3PL)事業を中心にコスト削減を提案し、新規受託に向け積極的な営業を進めてまいります。また、既存の物流センターにおきましても、更なる業務効率化を推進してまいります。

当社において重要なキーワードであります、「日々収支」「全員参加」「コミュニケーション」の既存路線を踏襲した上で、更なる高みを目指し、挑戦を続けてまいります。

平成26年3月期の業績見通しといたしましては、連結営業収益910億円(前年同期比2.3%増)、連結営業利益69億円(同0.7%増)、連結経常利益は69億円(同15.8%増)、連結当期純利益は35億円(同12.9%増)を見込んでおります。

通期見通しにおける軽油単価につきましては、最近の情勢をもとに計算しております。なお、軽油単価の変動による影響につきましては、1リットル当たりの単価1円の変動により、年間32百万円の影響となります。また借入金の変動による影響につきましては、金利0.1%の変動により年間22百万円の影響となります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,080	4,890
受取手形及び売掛金	11,752	11,653
商品	2	2
貯蔵品	123	112
その他	1,795	2,025
貸倒引当金	△29	△34
流動資産合計	18,724	18,649
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	23,094	22,772
土地	34,416	34,665
その他(純額)	4,495	5,254
有形固定資産合計	62,005	62,692
無形固定資産	2,028	2,053
投資その他の資産	4,161	4,374
固定資産合計	68,195	69,120
資産合計	86,920	87,769
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,888	5,646
短期借入金	21,740	22,105
未払法人税等	1,279	619
賞与引当金	592	570
役員賞与引当金	46	16
その他	4,695	5,579
流動負債合計	34,242	34,536
固定負債		
長期借入金	11,449	10,895
退職給付引当金	4,939	4,960
役員退職慰労引当金	423	432
その他	4,649	5,122
固定負債合計	21,462	21,411
負債合計	55,704	55,947
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,045	4,045
資本剰余金	3,951	3,951
利益剰余金	18,853	19,407
自己株式	△8	△8
株主資本合計	26,841	27,395
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	69	84
その他の包括利益累計額合計	69	84
少数株主持分	4,305	4,341
純資産合計	31,215	31,821
負債純資産合計	86,920	87,769

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
営業収益	22,051	22,245
営業原価	19,872	20,365
営業総利益	2,179	1,879
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	3	2
役員報酬	109	110
給料及び手当	134	129
賞与引当金繰入額	20	21
役員賞与引当金繰入額	12	14
退職給付費用	7	7
役員退職慰労引当金繰入額	16	16
その他	261	248
販売費及び一般管理費合計	566	549
営業利益	1,612	1,329
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	20	17
負ののれん償却額	50	50
助成金収入	34	5
雑収入	54	94
営業外収益合計	159	168
営業外費用		
支払利息	95	79
雑損失	11	48
営業外費用合計	107	128
経常利益	1,665	1,369
特別損失		
投資有価証券評価損	10	3
賃貸借契約解約損	—	13
特別損失合計	10	17
税金等調整前四半期純利益	1,655	1,352
法人税、住民税及び事業税	734	611
法人税等調整額	0	△76
法人税等合計	735	534
少数株主損益調整前四半期純利益	920	817
少数株主利益	100	96
四半期純利益	819	721
少数株主利益	100	96
少数株主損益調整前四半期純利益	920	817
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16	12
その他の包括利益合計	△16	12
四半期包括利益	904	830
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	808	736
少数株主に係る四半期包括利益	95	94

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注)2
	物流センター 事業	貨物自動車運送 事業	計		
営業収益					
(1) 外部顧客に 対する営業収益	10,506	11,545	22,051	—	22,051
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	127	340	468	△468	—
計	10,633	11,885	22,519	△468	22,051
セグメント利益	1,304	306	1,610	2	1,612

(注)1 調整額は、全てセグメント間取引消去によるものであります。

(注)2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注)2
	物流センター 事業	貨物自動車運送 事業	計		
営業収益					
(1) 外部顧客に 対する営業収益	10,546	11,698	22,245	—	22,245
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	123	303	427	△427	—
計	10,670	12,002	22,672	△427	22,245
セグメント利益	971	357	1,329	0	1,329

(注)1 調整額は、全てセグメント間取引消去によるものであります。

(注)2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(4) その他

前連結会計年度及び前第1四半期累計期間の実績につきましては、平成25年8月13日付で公表しました「(訂正・数値データ訂正)「平成25年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」」及び「(訂正)「平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」」の実績を基に作成しております。